

# 一般ガス事業者の経営効率化目標

この資料は、総合エネルギー調査会都市熱エネルギー一部会都市ガス事業料金制度分科会の報告を踏まえて、当局所管の各一般ガス事業者が、決算発表時等に公表した経営効率化目標の主なものである。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																																		
<p>中部ガス㈱</p> <p>目標の発表 平成 21 年 4 月</p> <p>達成の発表 平成 23 年 4 月</p>	<p>1. 設備投資のコストダウン</p> <p>当社は増大する天然ガス需要に対する抜本的対策として「静浜幹線」を建設することを決定しました。これにより将来にわたり十分かつ安定的な天然ガス供給体制を構築することができますが、一方では平成 21 年から平成 25 年の 5 年間の設備投資額はこれまでの 5 年間より大幅に増大することになります。このため、導管工事における発注方法の工夫等による施工単価の低減や、設備全般における新技術、新工法の積極的な調査研究および導入等により設備投資のコストダウンをはかっていきます。</p> <p>平成 21 年から平成 25 年の 5 年間の設備投資額を当初計画に比べ約 35 億円削減し、総額 287 億円以内とします。</p> <p>平成 25 年までの設備投資額は以下のように見込んでいます。</p> <table border="0"> <tr><td>平成 21 年目標</td><td>6,200 百万円</td></tr> <tr><td>平成 22 年目標</td><td>5,400 百万円</td></tr> <tr><td>平成 23 年目標</td><td>6,150 百万円</td></tr> <tr><td>平成 24 年目標</td><td>6,800 百万円</td></tr> <tr><td>平成 25 年目標</td><td>4,150 百万円</td></tr> <tr><td>5 年間総額目標</td><td>28,700 百万円</td></tr> </table> <p>2. 要員の効率化</p> <p>今後販売量の増加やお客さま件数の増加に対応し業務量が年々増加していきませんが、管理間接業務の見直し等を行ない、要員の効率化をはかっていきます。</p> <p>平成 20 年末社員数 510 名を平成 21 年から平成 25 年の 5 年間で 13 名効率化し、平成 25 年末で 497 名以下とします。</p> <p>平成 25 年までの社員数は以下のように見込んでいます。</p> <table border="0"> <tr><td>平成 20 年社員数実績</td><td>510 人</td></tr> <tr><td>平成 21 年社員数目標</td><td>504 人</td></tr> <tr><td>平成 22 年社員数目標</td><td>504 人</td></tr> <tr><td>平成 23 年社員数目標</td><td>502 人</td></tr> <tr><td>平成 24 年社員数目標</td><td>498 人</td></tr> <tr><td>平成 25 年社員数目標</td><td>497 人</td></tr> <tr><td>平成 20 年→平成 25 年</td><td>▲13 人</td></tr> </table>	平成 21 年目標	6,200 百万円	平成 22 年目標	5,400 百万円	平成 23 年目標	6,150 百万円	平成 24 年目標	6,800 百万円	平成 25 年目標	4,150 百万円	5 年間総額目標	28,700 百万円	平成 20 年社員数実績	510 人	平成 21 年社員数目標	504 人	平成 22 年社員数目標	504 人	平成 23 年社員数目標	502 人	平成 24 年社員数目標	498 人	平成 25 年社員数目標	497 人	平成 20 年→平成 25 年	▲13 人	<p>1. 平成 22 年末における進捗状況は以下のとおりとなります。</p> <p>設備投資額実績</p> <table border="0"> <tr><td>平成 21 年実績</td><td>4,189 百万円</td></tr> <tr><td>平成 22 年実績</td><td>5,230 百万円</td></tr> </table> <p>平成 22 年における設備投資額は 5,230 百万円となり、目標で掲げた 5,400 百万円よりさらに 170 百万円削減という成果を上げることができました。平成 21 年、22 年の 2 年間の合計では、幹線投資の一部が平成 23 年以降に持ち越しとなっている影響等もあり、目標より 2,200 百万円程度低減しています。</p> <p>2. 平成 22 年末における進捗状況は以下のとおりとなります。</p> <p>社員数実績</p> <table border="0"> <tr><td>平成 21 年実績</td><td>502 人</td></tr> <tr><td>平成 22 年実績</td><td>506 人</td></tr> </table> <p>平成 22 年末の社員数は 506 名となり、平成 21 年末実績から 4 名、平成 22 年目標で掲げた 504 名と比較すると 2 名の増員となっておりますが、次年度の平成 23 年末では目標どおりの 502 名となる見通しです。</p>	平成 21 年実績	4,189 百万円	平成 22 年実績	5,230 百万円	平成 21 年実績	502 人	平成 22 年実績	506 人
平成 21 年目標	6,200 百万円																																			
平成 22 年目標	5,400 百万円																																			
平成 23 年目標	6,150 百万円																																			
平成 24 年目標	6,800 百万円																																			
平成 25 年目標	4,150 百万円																																			
5 年間総額目標	28,700 百万円																																			
平成 20 年社員数実績	510 人																																			
平成 21 年社員数目標	504 人																																			
平成 22 年社員数目標	504 人																																			
平成 23 年社員数目標	502 人																																			
平成 24 年社員数目標	498 人																																			
平成 25 年社員数目標	497 人																																			
平成 20 年→平成 25 年	▲13 人																																			
平成 21 年実績	4,189 百万円																																			
平成 22 年実績	5,230 百万円																																			
平成 21 年実績	502 人																																			
平成 22 年実績	506 人																																			

	<p>3. 安全高度化の推進        お客さま先あるいは自社設備の保安レベルを向上するために、主に以下の取組みを実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不完全燃焼防止装置のない小型湯沸器などの非安全ガス機器の取替促進活動を継続的に推進していくとともに、ガス漏れ警報器の普及促進をはかっています。</li> <li>・ 平成 21 年末までにねずみ鋳鉄管の入替工事を完了し、その他の経年ガス本支管については優先順位付けを行なって入替工事などの対策を計画的に実施していきます。</li> <li>・ 経年ガス内管については、お客さまの資産であることから、お客さまへの改善提案活動を計画的に推進していきます。</li> <li>・ 安全意識の向上、安定供給および事故防止などを目的とした社内安全活動である「ガス・セーフティー・アクション」活動を推進していきます。</li> </ul>	<p>3. 平成 22 年末における進捗状況は以下のとおりとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全型ガス機器の普及に取組み、小型湯沸器普及数のうち不完全燃焼防止装置付の普及率は 99.5%となりました。また、ガス漏れ警報器の普及促進にも積極的に取り組んだ結果、普及率は 80.1%となりました。</li> <li>・ 経年管対策として、ねずみ鋳鉄管（本支管）については予定どおり平成 21 年で入替工事を全て完了しており、その他の経年ガス本支管の入替工事および経年ガス内管の改善提案活動についても計画的に実施しております。</li> <li>・ 社内安全活動「ガス・セーフティー・アクション」では、リスクを見える化し、除去、低減するためにチェックリストの運用を徹底しています。リスクアセスメントを確実に実施することで職場の本質安全化ならびに安全水準の向上をはかっています。</li> </ul>
--	---	---

#### 4. 環境負荷軽減への貢献

環境負荷軽減につながる活動として、当社の環境方針に基づいた以下の取組みを主に実施していきます。

- ・ 環境マネジメントシステムを強化して、オフィスにおける廃棄物低減、省資源、省エネルギー活動を推進していきます。
- ・ コージェネレーションシステム等の高効率機器や天然ガス自動車の普及促進をはかっていきます。
- ・ 地域の環境保全活動へ積極的に参加していくとともに、小学校を主体とした環境教育活動を強化していきます。

4. 平成 22 年末における進捗状況は以下のとおりとなります。

- ・ 平成 13 年 1 月より各事業所にて開始した、省エネルギー推進、廃棄物削減およびリサイクルの推進を目的とする全社員取組みの「エコ・オフィス活動」を継続的に実施し、一般廃棄物最終処分量は本活動開始前（12 年）と比べて 79.8%削減しました。
- ・ 家庭用コージェネレーションシステムの普及促進に取組み、平成 22 年末時点での普及台数は 327 台（20 年末 219 台）となりました。また、自然エネルギーとのベストミックスを実現する太陽光発電・太陽熱利用システムの販売強化にも積極的に取り組んでおります。
- ・ NPO や自治体等が主催する地域環境保全活動への積極的な参加、その他各種団体に加入し諸活動に協賛しております。

また、環境教育活動として小学校等への出前授業によるエネルギー環境教育およびエコクッキングなど、継続的に実施しております。

	<p>5. CS活動の推進  お客さまとの絆を深め、お客さま満足度を高めるために、主に以下の取組みを実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お客さま宅のガス機器の無料診断を行なう「サービス点検訪問活動」や新築入居後のガス機器の使い勝手等をフォローする「新築フォロー訪問活動」を継続的に実施していきます。</li> <li>・ ショールームの整備を行ない、お客さまに気軽に足を運んでいただき、楽しんでいただけるサービスや交流の場を提供していくとともに、お客さまに豊かな生活空間とライフスタイルを提案していきます。</li> <li>・ サーラグループとして実施しているお客さま対応品質の優秀事例コンテストである「SALA Quality of The Year」への積極的な応募を通じて、お客さまサービス向上につながる取組みの強化をはかっています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>5. 平成 22 年末における進捗状況は以下のとおりとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス点検訪問活動として平成 21 年から 22 年の 2 年間で 18,447 件を訪問し、ガス機器の無料点検や機能説明等を実施しました。また、新築フォロー訪問活動についても計画的に実施しました。</li> <li>・ 平成 21 年の「サーラプラザ豊橋」に引き続き、平成 22 年には「サーラプラザ浜松」、「サーラプラザ磐田」を相次いでオープンし、ガス体験およびリフォームコーナーなどのショールームや、カルチャースクール、カフェなどのコミュニティスペースを活用した“ガスのある快適な暮らし”の提案に積極的に取り組んでおります。</li> <li>・ サーラグループで実施しているお客さま対応品質の優秀事例コンテスト「SALA Quality of The Year」への応募を目標のひとつとして、社員ひとりひとりがお客さまサービスを意識した取組みを実施しております。</li> </ul>
--	--	--

# 一般ガス事業者の経営効率化努力目標

この資料は、総合エネルギー調査会都市熱エネルギー部会都市ガス事業料金制度分科会の報告を踏まえて、当局所管の各一般ガス事業者が、決算発表時等に公表した経営効率化目標及びその達成状況の主なものである。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																																																		
犬山ガス(株)  目標の発表 平成20年4月  達成状況の発表 平成23年4月	1. 設備投資の削減 他工事(下水道等)との同時施工及び浅層埋設施工を推進、更には新技術・工法等を積極的に採用し、掘削土等の削減(環境負荷の削減)と安定供給と保安の確保に努めながら工事費の低減化を図ります。平成20年度から平成22年度の3年間の設備投資額を、計画額より3%(15,990千円)削減する事を目標とします。	H22年度の削減率については、行政が主幹する工事との同調割合が増えた事により、導管敷設工事費用のうち土木作業(掘削・舗装等)費用の一部が削減できた事によるものです。次年度以降についても行政の動向を把握し、同調工事を推進していきます。3か年の削減実績としましては、目標を下回る結果となりました。																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画額</th> <th>目標額</th> <th>目標率</th> <th>効率化後投資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>186,580</td> <td>△ 5,600</td> <td>3.0%</td> <td>180,980</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>208,740</td> <td>△ 6,260</td> <td>3.0%</td> <td>202,480</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>137,500</td> <td>△ 4,130</td> <td>3.0%</td> <td>133,370</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>532,820</td> <td>△ 15,990</td> <td>3.0%</td> <td>516,830</td> </tr> </tbody> </table>		計画額	目標額	目標率	効率化後投資額	平成20年度	186,580	△ 5,600	3.0%	180,980	平成21年度	208,740	△ 6,260	3.0%	202,480	平成22年度	137,500	△ 4,130	3.0%	133,370	合計	532,820	△ 15,990	3.0%	516,830	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>計画見直額</th> <th>実績額</th> <th>削減実績</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 20</td> <td>102,330</td> <td>96,870</td> <td>5,460</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H 21</td> <td>117,300</td> <td>116,780</td> <td>520</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>H 22</td> <td>111,430</td> <td>107,140</td> <td>4,290</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>331,060</td> <td>320,790</td> <td>10,270</td> <td>3.1%</td> </tr> </tbody> </table>	実績	計画見直額	実績額	削減実績	削減率	H 20	102,330	96,870	5,460	5.3%	H 21	117,300	116,780	520	0.4%	H 22	111,430	107,140	4,290	3.9%	合計	331,060	320,790	10,270	3.1%
		計画額	目標額	目標率	効率化後投資額																																															
	平成20年度	186,580	△ 5,600	3.0%	180,980																																															
平成21年度	208,740	△ 6,260	3.0%	202,480																																																
平成22年度	137,500	△ 4,130	3.0%	133,370																																																
合計	532,820	△ 15,990	3.0%	516,830																																																
実績	計画見直額	実績額	削減実績	削減率																																																
H 20	102,330	96,870	5,460	5.3%																																																
H 21	117,300	116,780	520	0.4%																																																
H 22	111,430	107,140	4,290	3.9%																																																
合計	331,060	320,790	10,270	3.1%																																																
2. 要員の効率化 第4次の効率化目標値(33名)は達成いたしましたので、第5次は32名を目標維持人数といたします。目標維持人数を超えないように、より多くの多能工者(資格取得者)を養成し、災害時非常体制・各種の保安体制を確保してまいります。また、機動的な組織への体制作りにも努めます。	平成22年期末の社員数は27名(退職1名・新規正社員採用1名・契約社員への切替1名)となりました。尚、多能工者育成の取り組みに関しては、今期、ガス主任技術者・甲種(1名)・乙種(1名)・液化石油ガス設備士(1名)という結果となりました。																																																			
3. 労働生産性 小口部門としては、オール電化対策として、既存選択約款による提案型営業を推進し、新規需要の獲得・既設需要家へのガス料金の低廉化、給湯器・暖房機の普及率UP、多栓化を目指し、原単位アップを図るよう努めてまいります。大口部門としては、新規大口需要の獲得、既存需要家の燃転等の提案を推進していきます。	大口部門においては景気低迷からの回復の兆しがみられ、販売量がリーマンショック以前の水準に戻りつつあります。昨年に引き続き今期も燃料転換による新規大口需要の獲得が達成できました。尚、21年度大口需要部門の赤字をうけ、対象需要家に対し、値上げ交渉を進めております。小口部門においては雇用状況の悪化による空家率の増加や電化切替もあり、昨年に引き続き、調定件数は減少となりました。																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>販売量指数</th> <th>需要家指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成19年度</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>105</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>114</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>118</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>		販売量指数	需要家指数	平成19年度	100	100	平成20年度	105	104	平成21年度	114	105	平成22年度	118	105	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>販売指数</th> <th>需要家指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 19</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H 20</td> <td>103</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>H 21</td> <td>92</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>H 22</td> <td>121</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>	実績	販売指数	需要家指数	H 19	100	100	H 20	103	103	H 21	92	102	H 22	121	120																					
	販売量指数	需要家指数																																																		
平成19年度	100	100																																																		
平成20年度	105	104																																																		
平成21年度	114	105																																																		
平成22年度	118	105																																																		
実績	販売指数	需要家指数																																																		
H 19	100	100																																																		
H 20	103	103																																																		
H 21	92	102																																																		
H 22	121	120																																																		
4. サービス・保安の向上 ①CS(顧客満足)活動の見直しを図り、お客さまのニーズへの対応や、新しいガス機器の安全性・省エネ性・利便性の提案を推進してまいります。  ②経年ガス導管(白ガス管等)の入・取替を引き続き行い、地震対策等尚一層の保安対策の強化を図ります。	①全需要家へのコミュニケーションペーパー配布による情報発信を行ったことで、各種問い合わせが増え、的確できめ細かなサービスが行えるようになり、ガス設備の保安に関する啓蒙活動にもつながっております。また災害対策として、災害発生時には携帯端末を用いた安否状況確認システムを導入しました。  ②経年ガス導管の入替えについては、計画の変更により、下記の延長となり、計画値を下回る結果となりましたが、引き続き、白ガス管の入替えによる保安対策強化を図ります。																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>延長計画</th> <th>(単位:m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>1,886</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>1,638</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>1,445</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,969</td> </tr> </tbody> </table>	延長計画	(単位:m)	平成20年度	1,886	平成21年度	1,638	平成22年度	1,445	合計	4,969	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>(単位:m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 20</td> <td>1,733</td> </tr> <tr> <td>H 21</td> <td>1,518</td> </tr> <tr> <td>H 22</td> <td>1,345</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,596</td> </tr> </tbody> </table>	実績	(単位:m)	H 20	1,733	H 21	1,518	H 22	1,345	合計	4,596																															
延長計画	(単位:m)																																																			
平成20年度	1,886																																																			
平成21年度	1,638																																																			
平成22年度	1,445																																																			
合計	4,969																																																			
実績	(単位:m)																																																			
H 20	1,733																																																			
H 21	1,518																																																			
H 22	1,345																																																			
合計	4,596																																																			

(注)効率化努力目標及び達成状況を公表していない事業者がいるときは、その理由を当該各欄に記載するものとする。

## 一般ガス事業者の経営効率化努力目標

この資料は、総合エネルギー調査会都市熱エネルギー部会都市ガス事業料金制度分科会の報告を踏まえて、当局所管の各一般ガス事業者が、決算発表時等に公表した経営効率化目標及びその達成状況の主なものである。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																																													
<b>犬山ガス(株)</b>  目標の発表 平成23年4月	<b>1. 要員の効率化</b> 第5次の効率化目標値(32名)は達成いたしましたので、第6次は従業員数30名を目標維持人数といたします。目標維持人数を超えないように、より多くの多能工者(資格取得者)を養成し、災害時非常体制・各種の保安体制を確保してまいります。また、機動的な組織への体制作り努めます。																																														
	<b>2. 労働生産性</b> 提案型営業を充実させるために、料金メニューの拡充、ガス料金の低廉化、大口需要家の獲得、高効率給湯器・全口Siセンサーコンロの普及率アップ、そして多栓化を目指し、原単位アップに結びつけます。安定した販売量を計画し、一人当たりの労働生産性の向上を目標に積極的に取組みます。																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">販売量(千m3/人)</th> <th colspan="2">調定件数(件/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22年(実績)</td> <td>664</td> <td>100%</td> <td>274</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H23年(目標)</td> <td>703</td> <td>106%</td> <td>276</td> <td>101%</td> </tr> <tr> <td>H24年(目標)</td> <td>727</td> <td>110%</td> <td>278</td> <td>102%</td> </tr> <tr> <td>H25年(目標)</td> <td>748</td> <td>113%</td> <td>279</td> <td>102%</td> </tr> </tbody> </table>		販売量(千m3/人)		調定件数(件/人)		H22年(実績)	664	100%	274	100%	H23年(目標)	703	106%	276	101%	H24年(目標)	727	110%	278	102%	H25年(目標)	748	113%	279	102%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">販売量</th> <th colspan="2">調定件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23年(実績)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24年(実績)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25年(実績)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		販売量		調定件数		H23年(実績)					H24年(実績)					H25年(実績)				
		販売量(千m3/人)		調定件数(件/人)																																											
H22年(実績)	664	100%	274	100%																																											
H23年(目標)	703	106%	276	101%																																											
H24年(目標)	727	110%	278	102%																																											
H25年(目標)	748	113%	279	102%																																											
	販売量		調定件数																																												
H23年(実績)																																															
H24年(実績)																																															
H25年(実績)																																															
<b>3. 設備投資の削減</b> 他工事(下水道等)との同時施工の推進及び、新技術・工法等を積極的に採用するとともに、ガス導管材料含めた、調達資材や備品関係の見直しを図り、設備投資コストの削減を継続できる体制を整えてまいります。																																															
<b>4. 環境への取り組み</b> ①お客様のエネルギー利用効率の向上と、CO2の排出量の削減を目指し、エネルギー効率の高いガス機器の普及拡大を図ることにより、ガスの拡販を図ります。																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>(単位:台)</th> <th>H22年(実績)</th> <th>目標(3年累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコジョーズ</td> <td>117</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>エコウィル</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>エネファーム</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>119</td> <td>368</td> </tr> </tbody> </table>	(単位:台)	H22年(実績)	目標(3年累計)	エコジョーズ	117	360	エコウィル	2	8	エネファーム	0	2	合計	119	368	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>(単位:台)</th> <th>H23年</th> <th>H24年</th> <th>H25年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコジョーズ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エコウィル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エネファーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	(単位:台)	H23年	H24年	H25年	計	エコジョーズ					エコウィル					エネファーム					合計				0						
(単位:台)	H22年(実績)	目標(3年累計)																																													
エコジョーズ	117	360																																													
エコウィル	2	8																																													
エネファーム	0	2																																													
合計	119	368																																													
(単位:台)	H23年	H24年	H25年	計																																											
エコジョーズ																																															
エコウィル																																															
エネファーム																																															
合計				0																																											
②資源循環型社会の実現に貢献するため、事業活動を通じて、廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の活動に取り組めます。その一環として、買替引取ガス機器・梱包用発砲スチロールを回収し、分別・解体し、金属材料等への資源リサイクルを推進します。																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>(単位:t)</th> <th>H22年(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレス鋼材</td> <td>21.5</td> </tr> <tr> <td>真鍮</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>被膜線</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22.7</td> </tr> </tbody> </table>	(単位:t)	H22年(実績)	プレス鋼材	21.5	真鍮	0.3	被膜線	0.3	その他	0.6	合計	22.7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>(単位:t)</th> <th>H23年</th> <th>H24年</th> <th>H25年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレス鋼材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>真鍮</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>被膜線</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	(単位:t)	H23年	H24年	H25年	計	プレス鋼材				0.0	真鍮				0.0	被膜線				0.0	その他				0.0	合計	0.0	0.0	0.0	0.0				
(単位:t)	H22年(実績)																																														
プレス鋼材	21.5																																														
真鍮	0.3																																														
被膜線	0.3																																														
その他	0.6																																														
合計	22.7																																														
(単位:t)	H23年	H24年	H25年	計																																											
プレス鋼材				0.0																																											
真鍮				0.0																																											
被膜線				0.0																																											
その他				0.0																																											
合計	0.0	0.0	0.0	0.0																																											

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																				
	<p><b>5. 保安・サービスの向上</b></p> <p>①地震対策等を含めた保安対策の強化を図るため、引き続き経年ガス導管の入替を促進します。</p> <table border="1" data-bbox="541 351 874 510"> <thead> <tr> <th>延長計画</th> <th>(単位：m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 23 年度</td> <td>1,788</td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td>1,506</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>1,476</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,770</td> </tr> </tbody> </table> <p>②基幹システムの再構築を行い、社内ネットワークを拡充することにより、業務の効率化を目指します。</p> <p>③CS活動を推進し、幅広い機器に関する提案型営業を行い、お客様の満足向上を目指します。</p>	延長計画	(単位：m)	平成 23 年度	1,788	平成 24 年度	1,506	平成 25 年度	1,476	合計	4,770	<table border="1" data-bbox="1088 351 1422 510"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>(単位：m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 23 年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	実績	(単位：m)	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		合計	0
延長計画	(単位：m)																					
平成 23 年度	1,788																					
平成 24 年度	1,506																					
平成 25 年度	1,476																					
合計	4,770																					
実績	(単位：m)																					
平成 23 年度																						
平成 24 年度																						
平成 25 年度																						
合計	0																					

## 一般ガス事業者の経営効率化目標

この資料は、総合エネルギー調査会都市熱エネルギー部会都市ガス事業料金制度分科会の報告を踏まえて、当局所管の各一般ガス事業者が、決算発表時等に公表した経営効率化目標の主なものである。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<p>津島ガス㈱</p> <p>目標の発表 平成 21 年 7 月</p> <p>達成状況の発表 平成 22 年 4 月 平成 23 年 4 月</p>	<p><b>1. 要員の効率化</b>                      ガスの安定供給・保安の確保に万全を期すとともに、オール電化対策等を実施し、営業開発の強化を図りながら、需要の増加を進めていきますが、現状の人員を増員することなく生産性をあげるよう努力していきます。                      平成 20 年(実績) 17 人                      (正社員 13 人、契約社員 4 人)</p> <p><b>2. ガス販売量の増加</b>                      オール電化との競合が激しくなる中、天然ガスの優位性をPRしながら、供給区域内における他燃料切替営業を促進していき、既設導管からの効率の良い営業展開を実施し、都市ガス普及率を上げていきます。                      床暖房・温水乾燥暖房機器の設置・ファンヒーターの拡販を実施して、1 件当たりのガス使用量の増加を目指します。</p> <p><b>3. 経費の削減</b>                      細部に亘り、業務の効率化を図り、諸経費を平成 18 年～平成 20 年の実績平均 92,000(千円/年)以下に抑制するように努めます。</p> <p><b>4. 保安の維持・向上</b>                      (1) ねずみ鋳鉄管や経年埋設管の入替促進に努めます。                      (2) 引き続き、業務用メーターのマイコン化を進めます。                      (3) 安全装置付きガス機器及びガス漏れ警報器を普及促進します。</p>	<p><b>1. 要員の効率化</b>                      平成 20 年(実績) 17 人                      (正社員 13 人、契約社員 4 人)                      平成 21 年(実績) 16 人                      (正社員 12 人、契約社員 4 人)                      平成 22 年(実績) 16 人                      (正社員 12 人、契約社員 4 人)                      平成 23 年</p> <p><b>2. ガス販売量の増加</b>                      (ガス販売量 千m3)                      平成 20 年(実績) 2,281                      平成 21 年(実績) 2,221                      平成 22 年(実績) 2,308                      平成 23 年                      (一人当たりのガス販売量 千m3/人)                      平成 20 年(実績) 134                      平成 21 年(実績) 139                      平成 22 年(実績) 144                      平成 23 年</p> <p><b>3. 経費の削減</b>                      (諸経費 千円)                      平成 20 年(実績) 86,329                      平成 21 年(実績) 90,156                      平成 22 年(実績) 91,778                      平成 23 年</p> <p><b>4. 保安の維持・向上</b>                      平成 21 年                      (1) ねずみ鋳鉄管 330.0m、白ガス管 17.0m 入替                      (2) 0 件 (残り 3 件)                      (3) 安心ガスライフ活動や各種キャンペーンにて普及促進</p>

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
	<p>5. 環境への取り組み            天然ガスのクリーン性をPRし、またエネルギー効率の高いガス機器（エコジョーズ等）の普及促進を推進します。</p>	<p>平成 22 年            (1)ねずみ鑄鉄管 171.0m、白ガス管 148.0m 入替            (2)2 件（残り 1 件）            (3)安心ガスライフ活動や各種キャンペーンにて普及促進</p> <p>5. 環境への取り組み            平成 21 年度の主な取り組み            ・高効率給湯器の販売促進（エコジョーズ 13 台販売）            ・消費生活展等にて天然ガスのPR            ・事業所周辺の清掃活動            平成 22 年度の主な取り組み            ・高効率給湯器の販売促進（エコジョーズ 17 台販売）            ・消費生活展等にて天然ガスのPR（天然ガスをPRするポスターを作成、関係各所に貼付。また同デザインを取り入れた名刺に変更。）            ・事業所、津島駅前周辺の清掃活動</p>

## 一般ガス事業者の経営効率化目標（大垣ガス 第5次）

この資料は、総合エネルギー調査会都市熱エネルギー部会都市ガス事業料金制度分科会の報告を踏まえて、当局所管の各一般ガス事業者が、決算発表時等に公表した経営効率化目標の主なものである。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
大垣ガス㈱ 目標の発表 平成20年6月 達成状況の発表 平成23年6月	<p>1. 環境への貢献 地球環境にやさしいクリーンな天然ガスを普及拡大させることにより、地域の環境保全に貢献するとともに、環境負荷低減に配慮した事業運営を行います。</p> <p>(1) CO2削減による環境負荷の改善を目指し、お客様への地球キープ・ベストガスによる提案型営業の展開、省エネルギー型ガス機器の提供等、天然ガスの利用と普及の拡大をはかります。</p> <p style="padding-left: 20px;">他燃料機器の都市ガス化 30台/毎年 省エネルギー機器の販売 300台/毎年</p> <p>(2) 総合資源エネルギーの有効利用をはかるため、省エネ活動を行います。</p> <p style="padding-left: 20px;">電力使用量の削減 …… 2007年度比 販売量原単位 毎年3%削減 ガス使用量の削減 …… 2007年度比 販売量原単位 毎年3%削減 ガソリン使用量の削減 …… 2007年度比 販売量原単位 毎年6%削減</p> <p>(3) 協力会社を含め事業活動に付随して発生する廃棄物の抑制、再使用、再資源化につとめます。</p> <p style="padding-left: 20px;">コピー紙使用量の削減 …… 2007年度比 販売量原単位 毎年3%削減 アスファルト・コンクリート塊の削減 …… 2007年の1m当たりの発生量(原単位)を維持する</p>	<p>1. 環境への貢献 平成17年3月3日ISO14001認証取得後、全社員一丸となって環境負荷低減活動に取り組み、下記の成果を達成しました。</p> <p>(1) 天然ガスの普及拡大 平成20年実績 他燃料機器の都市ガス化 32台 平成20年実績 省エネルギー機器の販売 320台 平成21年実績 他燃料機器の都市ガス化 31台 平成21年実績 省エネルギー機器の販売 345台 平成22年実績 他燃料機器の都市ガス化 30台 平成22年実績 省エネルギー機器の販売 309台</p> <p>(2) 省エネ活動 平成20年削減実績 電力使用量の削減 ▲ 3% ガス使用量の削減 ▲ 0.5% ガソリン使用量の削減 ▲ 10% 平成21年削減実績 電力使用量の削減 ▲ 15% ガス使用量の削減 ▲ 20% ガソリン使用量の削減 ▲ 19% 平成22年削減実績 電力使用量の削減 ▲ 7% ガス使用量の削減 ▲ 9% ガソリン使用量の削減 ▲ 3%</p> <p>(3) 廃棄物の抑制、再使用、再資源化 平成20年削減実績 コピー紙使用量の削減 + 1.9% アスファルト・コンクリート塊の削減 ▲ 19.0% 平成21年削減実績 コピー紙使用量の削減 ▲ 5.0% アスファルト・コンクリート塊の削減 ▲ 3.5% 平成22年削減実績 コピー紙使用量の削減 + 3.8% アスファルト・コンクリート塊の削減 ▲ 9.1%</p>
	<p>2. 経営体質の強化と労働生産性の向上 自由化の拡大、エネルギー間競争の激化、お客さまの要望の多様化に対応し業務量は年々増加していく傾向にあります。今後は更なる組織改革と活性化により経営体質の強化をはかり、労働生産性[従業員一人当りの販売量]の5%向上を目標とします。(H19年実績…1,240千m<sup>3</sup>/1人)</p> <p style="padding-left: 20px;">平成22年目標…1,302千m<sup>3</sup>/1人</p>	<p>2. 経営体質の強化と労働生産性の向上 労働生産性[従業員一人当りの販売量] 平成20年実績 1,189千m<sup>3</sup>/1人 平成21年実績 991千m<sup>3</sup>/1人 平成22年実績 1,264千m<sup>3</sup>/1人</p>
	<p>3. 季節変動の平準化に寄与する需要の拡大 供給設備の有効利用をはかるため、空調用及び業務用需要の開発をさらに促進し58%以上の平準化寄与分(選択約款分及び大口2種分(大口1種除く))を目標とします。</p> <p style="padding-left: 20px;">平成20年目標 56.0% 平成21年目標 57.0% 平成22年目標 58.0%</p>	<p>3. 季節変動の平準化に寄与する需要の拡大 平準化寄与分(選択約款分)の実績 平成20年実績 55.5% 平成21年実績 55.2% 平成22年実績 57.9%</p>
	<p>4. 保安の向上 (1) 安全、安定供給、地震対策等、保安対策の強化をはかるため、引続き経年ガス管の入替え促進を実施します。</p> <p style="padding-left: 20px;">平成20年目標 1,700m 平成21年目標 2,800m 平成22年目標 3,000m 計 7,500m</p> <p>(2) 災害・事故に対する整備を図ります。 マニュアル及び対応の資材・機器等の見直しと整備をおこない、2次災害の防止、事故防止に努めます。</p>	<p>4. 保安の向上 (1) 経年ガス管の入替え 平成20年実績 2,350m 平成21年実績 2,785m 平成22年実績 2,697m 計 7,832m</p> <p>(2) 災害・事故に対する整備 平成20年実績 移動式ガス発生器30m3タイプ1台、カセット100台購入 中圧水取替樹脂充填9箇所実施 マニュアル整備48件 平成21年実績 管内カメラ 抽水装置購入 中圧水取替樹脂充填19ヶ所 地震対策要領改訂中 平成22年実績 移動式ガス発生器8m3タイプ、4m3タイプ各1台 中圧水取替樹脂充填13ヶ所</p>
	<p>5. お客様満足度の向上 お客様満足度の向上をめざし、CS活動等の充実を図り、ブランド力の向上を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従業員教育の推進</li> <li>2. 定期的なお客様満足度の調査</li> <li>3. インtranet活用による情報共有化を推進</li> <li>4. 移動展示車等による地域ミニガス展の開催(20回/年)</li> <li>5. 省エネ機器のPR(エコジョーズ・Sコンロ)</li> <li>6. 選択約款料金の普及・拡大</li> <li>7. 定休業務機会等を利用したサービスの充実化</li> <li>8. 新社屋建設と、提案型ショールーム</li> <li>9. 料理教室(エコクッキング)</li> </ol>	<p>5. お客様満足度の向上 平成20年実績 1. あいさつ訓練の実施(毎朝、朝礼時) 2. 宿直時CSコールの励行 3. 定期的なお客様満足度の調査 4. 移動展示車により地域でのミニガス展の開催により、省エネ機器のPR(21回/年実施) 5. プラスワンサービス活動の実施 6. 新社屋建設と、提案型ショールームの設計 7. 料理教室(エコクッキング)の実施 平成21年実績 1. あいさつ訓練の実施(毎朝、朝礼時) 2. 宿直時CSコールの励行 3. 定期的なお客様満足度の調査 4. 移動展示車により地域でのミニガス展の開催により、省エネ機器のPR(24回/年実施) 5. プラスワンサービス活動の実施 6. 新社屋と提案型ショールームの運営 7. 料理教室(エコクッキング)の実施 平成22年実績 1. あいさつ訓練の実施(毎朝、朝礼時) 2. 宿直時CSコールの励行 3. 定期的なお客様満足度の調査 4. 移動展示車により地域でのミニガス展の開催により、省エネ機器のPR(10回/年実施) 5. プラスワンサービス活動の実施 6. 新社屋と提案型ショールームの運営 7. 小中学校への出張授業による料理教室(エコクッキング)の実施</p>

## 一般ガス事業者の経営効率化目標（大垣ガス 第6次）

この資料は、総合エネルギー調査会都市熱エネルギー部会都市ガス事業料金制度分科会の報告を踏まえて、当局所管の各一般ガス事業者が、決算発表時等に公表した経営効率化目標の主なものである。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
大垣ガス㈱ 目標の発表 平成23年7月 達成状況の発表 平成26年6月	<p>1. 環境への貢献 地球環境にやさしいクリーンな天然ガスを普及拡大させることにより、地域の環境保全に貢献するとともに、環境負荷低減に配慮した事業運営を行います。</p> <p>(1) CO2削減による環境負荷の改善を目指し、お客様へのエネルギーサービスによる提案型営業の展開、省エネルギー型ガス機器の提供等、天然ガスの利用と普及の拡大をはかります。</p> <p>他燃料機器の都市ガス化 30台/毎年 省エネルギー機器の販売 300台/毎年</p> <p>(2) 総合資源エネルギーの有効利用をはかるため、省エネ活動を行います。</p> <p>電力使用量の削減 …… 2010年度比 販売量原単位 毎年2%削減 ガス使用量の削減 …… 2010年度比 販売量原単位 毎年2%削減 ガリン使用量の削減 …… 2010年度比 販売量原単位 毎年3%削減</p> <p>(3) 協力会社を含め事業活動に付随して発生する廃棄物の抑制、再利用、再資源化につとめます。</p> <p>CO<sub>2</sub>-紙使用量の削減 …… 2010年度比 販売量原単位 毎年2%削減 プラスチック・コンクリート等の削減 …… 2010年の1m当たりの発生量(原単位)を維持する</p> <p>2. 経営体質の強化と労働生産性の向上 自由化の拡大、エネルギー間競争の激化、お客様の要望の多様化に対応し業務量は年々増加していく傾向にありますが、今後は更なる組織改革と活性化により経営体質の強化をはかり、労働生産性[従業員一人当たりの販売量]の5%向上を目標とします。(H22年実績…1,264千m<sup>3</sup>/1人)</p> <p>平成25年目標…1,327千m<sup>3</sup>/1人</p>	
	<p>3. 季節変動の平準化に寄与する需要の拡大 供給設備の有効利用をはかるため、空調用及び業務用需要の開発をさらに促進し60%以上の平準化寄与分(選択約款分及び大口2種分(大口1種除く))を目標とします。</p> <p>平成23年目標 58.0% 平成24年目標 59.0% 平成25年目標 60.0%</p>	
	<p>4. 保安の向上 (1) 安全、安定供給、地震対策等、保安対策の強化をはかるため、引続き経年ガス管の入替え促進を実施します。</p> <p>平成23年目標 1,000m 平成24年目標 1,000m 平成25年目標 1,000m 計 3,000m</p> <p>(2) 災害・事故に対する整備を図ります。 マニュアル及び対応の資料・機器等の見直しと整備をおこない、2次災害の防止、事故防止に努めます。</p> <p>5. お客様満足度の向上 お客様満足度の向上をめざし、CS活動等の充実を図り、ブランド力の向上を目指します。</p> <p>1. 従業員教育の推進 2. 定期的なお客様満足度の調査 3. インtranet活用による情報共有化を推進 4. 移動展示車等による地域イベントの開催(10回/年) 5. 省エネ機器のPR(エコジョーズ・SIセンサーコンロ) 6. 選択約款料金の普及・拡大 7. 定保業務機会等を利用したサービス活動の充実化 8. 本社展覧館の一般貸し出しと提案型ショールームの効果的運営 9. 料理教室(エコクッキング等)の定期的開催</p>	

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																																																								
<p><b>上野都市ガス(株)</b></p> <p>&lt;目標の発表&gt; 平成20年7月 &lt;中間発表&gt; 平成21年6月 平成22年6月</p> <p>&lt;達成状況の発表&gt; 平成23年6月</p> <p>[達成状況の内容]</p> <p><b>1. 要員の効率化結果</b> &lt;H.21.6 中間発表&gt; ・平成20年度末 人員実績38名 &lt;H.22.6 中間発表&gt; ・平成21年度末 人員実績35名 (上野ガスへ出向) &lt;H.23.6 達成状況&gt; ・平成22年度末 人員実績36名</p> <p><b>2. ガス販売量の増量結果</b> &lt;H.21.6 中間発表&gt; ・平成20年度末実績 11,603千m3 一人当たり305千m3 &lt;H.22.6 中間発表&gt; ・平成21年度末実績 11,224千m3 一人当たり321千m3 &lt;H.23.6 達成状況&gt; ・平成22年度末実績 <u>10,699千m3</u> 一人当たり297千 m3 大口工場閉鎖に よる減少)</p>	<p><b>1. 要員の効率化</b> 向こう2年間は、退職者の予定はありません。世代交代を穏やかに進め、営業力、保安力の強化と効率的な人事配置を行うとともに、電算化(I T)化の推進、業務能力の向上、パート、アウトソーシング化などにより社員の補充を最低限とするよう努力いたします。 (総社員数) ⇒ &lt;結果&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>平成19年度(実績)</td> <td>36人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成20年度(目標)</td> <td>37人</td> <td>38名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成21年度(目標)</td> <td>37人</td> <td>35名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成22年度(目標)</td> <td>37人</td> <td>36名</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>2. ガス販売量の増量</b> 平成20年から平成22年の間、ガスを次のとおり増量販売しコストダウンに資する。 (総ガス販売量) (一人当たり)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成19年度(実績)</td> <td>11,513千m3</td> <td>311千m3</td> </tr> <tr> <td>平成20年度(目標)</td> <td>11,640千m3</td> <td>315千m3</td> </tr> <tr> <td>平成21年度(目標)</td> <td>11,770千m3</td> <td>318千m3</td> </tr> <tr> <td>平成22年度(目標)</td> <td>11,888千m3</td> <td>321千m3</td> </tr> </table> <p>※13A:46.04655MJ ベース</p> <p><b>3. 経費の削減</b> 部門別に削減額の目標を設定、細部にわたる具体的な削減計画立案とその実行、月次決算に基づく実績対目標の対比検討による軌道修正と改善策実行などにより諸経費を対前年比1%削減するように努力いたします。 (年間経費額) (対前年低減率)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成19年度(実績)</td> <td>261808千円</td> <td>-----</td> </tr> <tr> <td>平成20年度(目標)</td> <td>259,190千円</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>平成21年度(目標)</td> <td>256,598千円</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>平成22年度(目標)</td> <td>254,032千円</td> <td>1%</td> </tr> </table> <p><b>4. CSR活動の積極的な展開</b> お客様への対応について、スピード、質的向上、地域貢献等項目ごとに目標を定めサービスの向上に努める。 (スピード) (質的向上) (地域貢献)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成19年度(実績)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>平成20年度(目標)</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>平成21年度(目標)</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>平成22年度(目標)</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> </tr> </table> <p>・スピードは、修理、業務、営業部門にて ・質的向上は、修理、工事、営業部門にて ・地域貢献は、地域起こしのお手伝いや地元祭り参加、PTA、ショールームフラムにて音楽会開催、地域諸団体への積極的参加にて</p>	平成19年度(実績)	36人			平成20年度(目標)	37人	38名		平成21年度(目標)	37人	35名		平成22年度(目標)	37人	36名		平成19年度(実績)	11,513千m3	311千m3	平成20年度(目標)	11,640千m3	315千m3	平成21年度(目標)	11,770千m3	318千m3	平成22年度(目標)	11,888千m3	321千m3	平成19年度(実績)	261808千円	-----	平成20年度(目標)	259,190千円	1%	平成21年度(目標)	256,598千円	1%	平成22年度(目標)	254,032千円	1%	平成19年度(実績)	1	1	1	平成20年度(目標)	1.05	1.05	1.1	平成21年度(目標)	1.05	1.05	1.15	平成22年度(目標)	1.1	1.1	1.2	<p><b>3. 経費の削減結果</b> &lt;H.21.6 中間発表&gt; ・平成20年度末実績 <b>285,576千円 110%</b> (資産除却16,890千円含む。除く103.6%) &lt;H.22.6 中間発表&gt; ・平成21年度末実績 <b>265,692千円 103.5%</b> (ゆめが丘工場塗装工事費用6,000千円含。) &lt;H.23.6 達成状況&gt; ・平成22年度末実績 <b>271,934千円 102.3%</b> (ガスメーター法定交換、修繕費用増。)</p> <p><b>4. CSR活動の積極的な展開結果</b> &lt;H.21.6 中間発表&gt; ・平成20年度末実績 (スピード)(質的向上)(地域) 修理 4% 技能講習 業務 5% - 営業 4% 人的強化 工事 - 5% 全社 良 良 優</p> <p>&lt;H.22.6 中間発表&gt; ・平成21年度末実績 (スピード)(質的向上)(地域) 修理-3.5% 技能講習 業務 10% システム更新 営業 3% 人的技能強化 工事 - 騒音防止 全社 良 優 優</p> <p>(地域貢献は、フラム、チッタ、三重大誘致協力、経済団体参加にて。)</p> <p>&lt;H.23.6 達成状況&gt; ・平成22年度末実績 (スピード)(質的向上)(地域) 修理 6.7% 技能講習 業務 10% システム向上 営業 5% 人的技能強化 工事 - ホコリ対策 全社 優 良 優</p>
平成19年度(実績)	36人																																																									
平成20年度(目標)	37人	38名																																																								
平成21年度(目標)	37人	35名																																																								
平成22年度(目標)	37人	36名																																																								
平成19年度(実績)	11,513千m3	311千m3																																																								
平成20年度(目標)	11,640千m3	315千m3																																																								
平成21年度(目標)	11,770千m3	318千m3																																																								
平成22年度(目標)	11,888千m3	321千m3																																																								
平成19年度(実績)	261808千円	-----																																																								
平成20年度(目標)	259,190千円	1%																																																								
平成21年度(目標)	256,598千円	1%																																																								
平成22年度(目標)	254,032千円	1%																																																								
平成19年度(実績)	1	1	1																																																							
平成20年度(目標)	1.05	1.05	1.1																																																							
平成21年度(目標)	1.05	1.05	1.15																																																							
平成22年度(目標)	1.1	1.1	1.2																																																							

事業者名	平成23年度～25年度 効率化努力目標の内容	達成状況の内容															
<b>上野都市ガス㈱</b>  《目標の発表》 平成23年7月	<b>1. 要員の効率化</b> 平成23年度、退職者の予定はありません。 緩やかな世代交代を進める一方、人材の育成を図り、効率的な人事配置を行うことで社員の補充を最低限にし、IT化の拡大、アウトソーシング化により要員の削減に努力します。  <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(総社員数)</td> <td style="text-align: center;">(増減)</td> </tr> <tr> <td>平成22年度(実績)</td> <td style="text-align: center;">36人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成23年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">36人</td> <td style="text-align: center;">±0人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">35人</td> <td style="text-align: center;">-1人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">34人</td> <td style="text-align: center;">-1人</td> </tr> </table>		(総社員数)	(増減)	平成22年度(実績)	36人		平成23年度(目標)	36人	±0人	平成24年度(目標)	35人	-1人	平成25年度(目標)	34人	-1人	
	(総社員数)	(増減)															
平成22年度(実績)	36人																
平成23年度(目標)	36人	±0人															
平成24年度(目標)	35人	-1人															
平成25年度(目標)	34人	-1人															
	<b>2. ガス販売量の増量</b> ガスの増量販売により1人当たりの収益を改善し経費の削減と合わせて、料金値下げ原資を捻出します。  <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(総ガス販売量)</td> <td style="text-align: center;">(一人当たり)</td> </tr> <tr> <td>平成22年度(実績)</td> <td style="text-align: center;">10,699 千 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: center;">297 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>平成23年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">11,163 千 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: center;">310 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>平成24年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">11,570 千 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: center;">331 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>平成25年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">11,849 千 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: center;">348 千 m<sup>3</sup></td> </tr> </table> ※13A : 46.04655MJ/m <sup>3</sup> ベース		(総ガス販売量)	(一人当たり)	平成22年度(実績)	10,699 千 m <sup>3</sup>	297 千 m <sup>3</sup>	平成23年度(目標)	11,163 千 m <sup>3</sup>	310 千 m <sup>3</sup>	平成24年度(目標)	11,570 千 m <sup>3</sup>	331 千 m <sup>3</sup>	平成25年度(目標)	11,849 千 m <sup>3</sup>	348 千 m <sup>3</sup>	
	(総ガス販売量)	(一人当たり)															
平成22年度(実績)	10,699 千 m <sup>3</sup>	297 千 m <sup>3</sup>															
平成23年度(目標)	11,163 千 m <sup>3</sup>	310 千 m <sup>3</sup>															
平成24年度(目標)	11,570 千 m <sup>3</sup>	331 千 m <sup>3</sup>															
平成25年度(目標)	11,849 千 m <sup>3</sup>	348 千 m <sup>3</sup>															
	<b>3. 経費の削減</b> 投資計画を押さえ、経費削減計画のもと、月次決算に基づく軌道修正と改善策を実行することにより、諸経費を対前年比各年1%削減するよう努力します。  <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(年間経費額)</td> <td style="text-align: center;">(対前年低減率)</td> </tr> <tr> <td>平成22年度(実績)</td> <td style="text-align: center;">271,934 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成23年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">269,215 千円</td> <td style="text-align: center;">1%</td> </tr> <tr> <td>平成24年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">266,523 千円</td> <td style="text-align: center;">1%</td> </tr> <tr> <td>平成25年度(目標)</td> <td style="text-align: center;">263,858 千円</td> <td style="text-align: center;">1%</td> </tr> </table>		(年間経費額)	(対前年低減率)	平成22年度(実績)	271,934 千円		平成23年度(目標)	269,215 千円	1%	平成24年度(目標)	266,523 千円	1%	平成25年度(目標)	263,858 千円	1%	
	(年間経費額)	(対前年低減率)															
平成22年度(実績)	271,934 千円																
平成23年度(目標)	269,215 千円	1%															
平成24年度(目標)	266,523 千円	1%															
平成25年度(目標)	263,858 千円	1%															
	<b>4. 環境負荷軽減への貢献</b> 環境負荷軽減に繋がる活動として以下の取組みを実施します。 ①ゆめが丘工場のISO活動の維持・推進による環境負荷低減と、本社におけるISO14001 取得に向けた活動 ②コージェネレーションシステムほか高効率機器の普及促進と約款の整備・拡充による導入促進 ③CO <sub>2</sub> 排出量の多い油類・LPGからクリーンな天然ガスへの燃料転換の推進 ④地域環境保全活動への積極参加ならびに小学校への環境教育活動の推進																

# 経営効率化目標の実施状況

事業者名	効率化目標の内容	達成状況の内容																																																																
<p>名張近鉄ガス(株)</p> <p>目標の発表 平成 20 年 3 月</p> <p>達成状況の発表 平成 23 年 3 月</p>	<p><b>1. 人員の効率化</b></p> <p>昨今、激変する経営環境の中、安定供給、保安の確保、オール電化対策、地震対策等あらゆるニーズに対応する必要がありますが、業務内容の効率化を図り通常人員を増員することなく、ルールを遵守しオープンで透明性のある会社風土を醸成します。</p> <p>また一人当たりの労働生産性についても業務の効率化を図り、プラス思考、新たな発想で更なる需要開発に取り組んでいきます。</p> <p>(1) 通常人員計画 平成 22 年度までの年度末の通常人員数は、以下のとおり計画しています。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">目標 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 19 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">52</td></tr> <tr><td>平成 20 年</td><td style="text-align: right;">52</td></tr> <tr><td>平成 21 年</td><td style="text-align: right;">52</td></tr> <tr><td>平成 22 年</td><td style="text-align: right;">52</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 一人当たりの労働生産性計画 平成 22 年度までの一人当たりのガス販売量は、以下のとおり計画しています。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">目標 (千m<sup>3</sup>/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 19 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">410</td></tr> <tr><td>平成 20 年</td><td style="text-align: right;">447</td></tr> <tr><td>平成 21 年</td><td style="text-align: right;">450</td></tr> <tr><td>平成 22 年</td><td style="text-align: right;">473</td></tr> </tbody> </table> <p><b>2. 設備効率の向上</b></p> <p>人口減少、少子高齢化、オール電化を始めとする他燃料との激しい競合によって、家庭用のお客様数は年々減少が予想されますが、用途別による攻めの営業活動を引き続き行ない、平成 22 年度までの 3 年間のガス販売量の伸び率は年平均 4.9% を計画しています。</p> <p>平成 22 年度までのガス販売量の伸びは、以下のとおり計画しています。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>(46.04655MJ<sup>ペ</sup>-ス・千m<sup>3</sup>)</th> <th style="text-align: right;">目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 19 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">21,342</td></tr> <tr><td>平成 20 年</td><td style="text-align: right;">23,235 [8.9%]</td></tr> <tr><td>平成 21 年</td><td style="text-align: right;">23,440 [0.9%]</td></tr> <tr><td>平成 22 年</td><td style="text-align: right;">24,611 [5.0%]</td></tr> <tr><td>平成 20→22 年平均</td><td style="text-align: right;">1,090 [4.9%]</td></tr> </tbody> </table>		目標 (人)	平成 19 年 (実績)	52	平成 20 年	52	平成 21 年	52	平成 22 年	52		目標 (千m <sup>3</sup> /人)	平成 19 年 (実績)	410	平成 20 年	447	平成 21 年	450	平成 22 年	473	(46.04655MJ <sup>ペ</sup> -ス・千m <sup>3</sup> )	目標	平成 19 年 (実績)	21,342	平成 20 年	23,235 [8.9%]	平成 21 年	23,440 [0.9%]	平成 22 年	24,611 [5.0%]	平成 20→22 年平均	1,090 [4.9%]	<p><b>1. 人員の効率化</b></p> <p>保安の確保、オール電化対策を目的とした体制強化を図ったため、目標値を達成することができませんでしたが、保安面では事故ゼロを継続し、営業面ではオール電化閉栓数を 16.2% (平成 19 年度比) 減少させることができました。</p> <p>また一人当たりの労働生産性についても工業用需要における景気低迷の影響が大きく、目標値を達成することはできませんでしたが、4.1% (同) の効率化を図ることができました。</p> <p>(1) 通常人員計画 各年度末の通常人員数は、以下のとおりです。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">実績 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 19 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">52</td></tr> <tr><td>平成 20 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">52</td></tr> <tr><td>平成 21 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">53</td></tr> <tr><td>平成 22 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">54</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 一人当たりの労働生産性計画 一人当たりのガス販売量は、以下のとおりです。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">実績 (千m<sup>3</sup>/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 19 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">410</td></tr> <tr><td>平成 20 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">475</td></tr> <tr><td>平成 21 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">402</td></tr> <tr><td>平成 22 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">427</td></tr> </tbody> </table> <p><b>2. 設備効率の向上</b></p> <p>都市部への回帰による人口減少、エネルギー一問の激しい競合の中、継続的な営業活動を行いました。工業用需要における金融危機を発端とした景気低迷の影響が大きく、3年間のガス販売量の平均伸び率は 3.4% となりました。</p> <p>ガス販売量の伸びは以下のとおりです。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>(46.04655MJ<sup>ペ</sup>-ス・千m<sup>3</sup>)</th> <th style="text-align: right;">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 19 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">21,342</td></tr> <tr><td>平成 20 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">24,682 [ 15.6%]</td></tr> <tr><td>平成 21 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">21,308 [▲13.7%]</td></tr> <tr><td>平成 22 年 (実績)</td><td style="text-align: right;">23,075 [ 8.3%]</td></tr> <tr><td>平成 20→22 年平均</td><td style="text-align: right;">578 [ 3.4%]</td></tr> </tbody> </table>		実績 (人)	平成 19 年 (実績)	52	平成 20 年 (実績)	52	平成 21 年 (実績)	53	平成 22 年 (実績)	54		実績 (千m <sup>3</sup> /人)	平成 19 年 (実績)	410	平成 20 年 (実績)	475	平成 21 年 (実績)	402	平成 22 年 (実績)	427	(46.04655MJ <sup>ペ</sup> -ス・千m <sup>3</sup> )	実績	平成 19 年 (実績)	21,342	平成 20 年 (実績)	24,682 [ 15.6%]	平成 21 年 (実績)	21,308 [▲13.7%]	平成 22 年 (実績)	23,075 [ 8.3%]	平成 20→22 年平均	578 [ 3.4%]
	目標 (人)																																																																	
平成 19 年 (実績)	52																																																																	
平成 20 年	52																																																																	
平成 21 年	52																																																																	
平成 22 年	52																																																																	
	目標 (千m <sup>3</sup> /人)																																																																	
平成 19 年 (実績)	410																																																																	
平成 20 年	447																																																																	
平成 21 年	450																																																																	
平成 22 年	473																																																																	
(46.04655MJ <sup>ペ</sup> -ス・千m <sup>3</sup> )	目標																																																																	
平成 19 年 (実績)	21,342																																																																	
平成 20 年	23,235 [8.9%]																																																																	
平成 21 年	23,440 [0.9%]																																																																	
平成 22 年	24,611 [5.0%]																																																																	
平成 20→22 年平均	1,090 [4.9%]																																																																	
	実績 (人)																																																																	
平成 19 年 (実績)	52																																																																	
平成 20 年 (実績)	52																																																																	
平成 21 年 (実績)	53																																																																	
平成 22 年 (実績)	54																																																																	
	実績 (千m <sup>3</sup> /人)																																																																	
平成 19 年 (実績)	410																																																																	
平成 20 年 (実績)	475																																																																	
平成 21 年 (実績)	402																																																																	
平成 22 年 (実績)	427																																																																	
(46.04655MJ <sup>ペ</sup> -ス・千m <sup>3</sup> )	実績																																																																	
平成 19 年 (実績)	21,342																																																																	
平成 20 年 (実績)	24,682 [ 15.6%]																																																																	
平成 21 年 (実績)	21,308 [▲13.7%]																																																																	
平成 22 年 (実績)	23,075 [ 8.3%]																																																																	
平成 20→22 年平均	578 [ 3.4%]																																																																	

# 経営効率化目標の実施状況

事業者名	効率化目標の内容	達成状況の内容																																																																														
	<p><b>3. 環境負荷軽減と設備投資のコストダウン</b> 平成20年度以降においても、浅層埋設施工、非開削工法を採用することによって掘削土低減、作業人員の削減、工事日数の減少、また相手工事との同調工事による市民生活への影響を最小限にとどめ、環境負荷軽減に取り組めます。</p> <p>(1) 浅層埋設施工による掘削土低減と導管工事費の低減を以下のとおり計画しています。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">目標 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成19年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲19</td></tr> <tr><td>平成20年</td><td style="text-align: right;">▲18</td></tr> <tr><td>平成21年</td><td style="text-align: right;">▲31</td></tr> <tr><td>平成22年</td><td style="text-align: right;">▲23</td></tr> <tr><td>平成20→22年</td><td style="text-align: right;">▲72</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 非開削工法における掘削土及び舗装面積の減少による導管工事費の低減を以下のとおり計画しています。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">目標 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成19年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲11</td></tr> <tr><td>平成20年</td><td style="text-align: right;">▲8</td></tr> <tr><td>平成21年</td><td style="text-align: right;">▲8</td></tr> <tr><td>平成22年</td><td style="text-align: right;">▲8</td></tr> <tr><td>平成20→22年</td><td style="text-align: right;">▲24</td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 相手工事と同調することによる導管工事費の低減を以下のとおり計画しています。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">目標 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成19年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲50</td></tr> <tr><td>平成20年</td><td style="text-align: right;">▲18</td></tr> <tr><td>平成21年</td><td style="text-align: right;">▲21</td></tr> <tr><td>平成22年</td><td style="text-align: right;">▲14</td></tr> <tr><td>平成20→22年</td><td style="text-align: right;">▲53</td></tr> </tbody> </table>		目標 (百万円)	平成19年 (実績)	▲19	平成20年	▲18	平成21年	▲31	平成22年	▲23	平成20→22年	▲72		目標 (百万円)	平成19年 (実績)	▲11	平成20年	▲8	平成21年	▲8	平成22年	▲8	平成20→22年	▲24		目標 (百万円)	平成19年 (実績)	▲50	平成20年	▲18	平成21年	▲21	平成22年	▲14	平成20→22年	▲53	<p><b>3. 環境負荷軽減と設備投資のコストダウン</b> 工事計画路線の変更により、浅層埋設施工、非開削工法による目標は下回りましたが、関係機関との連携を深め、相手工事との同調を推進した結果、3年間の工事費低減額は162百万円となり、目標を13百万円上回る成果を上げることができました。</p> <p>(1) 浅層埋設施工による掘削土低減と導管工事費の低減は以下のとおり実施いたしました。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">実績 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成19年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲19</td></tr> <tr><td>平成20年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲9</td></tr> <tr><td>平成21年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲27</td></tr> <tr><td>平成22年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲25</td></tr> <tr><td>平成20→22年</td><td style="text-align: right;">▲61</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 非開削工法における掘削土及び舗装面積の減少による導管工事費の低減は以下のとおり実施いたしました。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">実績 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成19年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲11</td></tr> <tr><td>平成20年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲3</td></tr> <tr><td>平成21年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲5</td></tr> <tr><td>平成22年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲5</td></tr> <tr><td>平成20→22年</td><td style="text-align: right;">▲13</td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 相手工事と同調することによる導管工事費の低減は以下のとおり実施いたしました。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">実績 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成19年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲50</td></tr> <tr><td>平成20年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲17</td></tr> <tr><td>平成21年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲46</td></tr> <tr><td>平成22年 (実績)</td><td style="text-align: right;">▲25</td></tr> <tr><td>平成20→22年</td><td style="text-align: right;">▲88</td></tr> </tbody> </table> <p>(1) ~ (3) 合計 (百万円)</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">目標</th> <th style="text-align: right;">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成20→22年</td><td style="text-align: right;">▲149</td><td style="text-align: right;">▲162</td></tr> </tbody> </table>		実績 (百万円)	平成19年 (実績)	▲19	平成20年 (実績)	▲9	平成21年 (実績)	▲27	平成22年 (実績)	▲25	平成20→22年	▲61		実績 (百万円)	平成19年 (実績)	▲11	平成20年 (実績)	▲3	平成21年 (実績)	▲5	平成22年 (実績)	▲5	平成20→22年	▲13		実績 (百万円)	平成19年 (実績)	▲50	平成20年 (実績)	▲17	平成21年 (実績)	▲46	平成22年 (実績)	▲25	平成20→22年	▲88		目標	実績	平成20→22年	▲149	▲162
	目標 (百万円)																																																																															
平成19年 (実績)	▲19																																																																															
平成20年	▲18																																																																															
平成21年	▲31																																																																															
平成22年	▲23																																																																															
平成20→22年	▲72																																																																															
	目標 (百万円)																																																																															
平成19年 (実績)	▲11																																																																															
平成20年	▲8																																																																															
平成21年	▲8																																																																															
平成22年	▲8																																																																															
平成20→22年	▲24																																																																															
	目標 (百万円)																																																																															
平成19年 (実績)	▲50																																																																															
平成20年	▲18																																																																															
平成21年	▲21																																																																															
平成22年	▲14																																																																															
平成20→22年	▲53																																																																															
	実績 (百万円)																																																																															
平成19年 (実績)	▲19																																																																															
平成20年 (実績)	▲9																																																																															
平成21年 (実績)	▲27																																																																															
平成22年 (実績)	▲25																																																																															
平成20→22年	▲61																																																																															
	実績 (百万円)																																																																															
平成19年 (実績)	▲11																																																																															
平成20年 (実績)	▲3																																																																															
平成21年 (実績)	▲5																																																																															
平成22年 (実績)	▲5																																																																															
平成20→22年	▲13																																																																															
	実績 (百万円)																																																																															
平成19年 (実績)	▲50																																																																															
平成20年 (実績)	▲17																																																																															
平成21年 (実績)	▲46																																																																															
平成22年 (実績)	▲25																																																																															
平成20→22年	▲88																																																																															
	目標	実績																																																																														
平成20→22年	▲149	▲162																																																																														
	<p><b>4. 保安・サービスの維持向上</b> 安定供給、保安の確保はガス事業者の使命であります。そのためにもガスの製造から消費機器に至るまで、あらゆる場面において保安・サービスのグレードアップを目指します。</p>	<p><b>4. 保安・サービスの維持向上</b> 保安・サービスの維持向上を図るため、以下のとおり取り組みました。</p>																																																																														

# 経営効率化目標の実施状況

事業者名	効率化目標の内容	達成状況の内容																																																		
	<p>(1) 安定供給の確保 日々の需要予測管理により最適な原料備蓄を行うとともに、適切な製造設備維持管理の実施により、事故防止に努め安定供給を図ります。</p> <p>(2) 経年埋設白ガス管（灯外管）の入替工事を本支管の入替工事に随伴し、折衝から改善工事までを一連で実施することにより、道路面の掘削許可取得、本復旧費、工事時間短縮の効率化を図ります。</p> <p>(3) 不完全燃焼防止装置付小型湯沸器への取替、給湯器等の屋内設置から屋外設置への取替、SIセンサーコンロ（全口センサー搭載）への取替など安心高度化ガス機器への取替を普及促進します。</p> <p><b>5. 環境保全、地域活動への貢献の推進</b> 名張地域のエネルギー企業として法令・ルールを遵守しながら、地域のみなさまとのコミュニケーションを重視し、開かれた企業を目指します。</p> <p>(1) エコウィル、エコジョーズ、温水床暖房、浴室暖房換気乾燥機、ガスファンヒーター等環境に優しくエネルギー効率の高いガス機器販売を促進します。</p> <p>(2) 次世代層へ向けた環境教育を実施し、将来への環境保全、次世代へのPRも積極的に行います。</p>	<p>(1) 増大する需要に対応するため、平成21年10月にLNG貯槽500klを増設し、運用を開始しました。また、適切な製造設備の維持管理の実施により、事故ゼロを継続しています。今後も引き続き安定供給の確保に努めます。</p> <p>(2) 対象のお客様に積極的にPRを行い、折衝に努めた結果、3年間で203件の経年埋設白ガス管（灯外管）入替工事を実施いたしました。</p> <p>(3) 安心高度化ガス機器への取替促進については以下のとおり取り組みました。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H20</th> <th style="text-align: center;">H21</th> <th style="text-align: center;">H22</th> <th style="text-align: center;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不燃防なし小型湯沸器</td> <td style="text-align: center;">30台</td> <td style="text-align: center;">23台</td> <td style="text-align: center;">17台</td> <td style="text-align: center;">70台</td> </tr> <tr> <td>屋内設置から屋外設置</td> <td style="text-align: center;">41台</td> <td style="text-align: center;">31台</td> <td style="text-align: center;">32台</td> <td style="text-align: center;">104台</td> </tr> <tr> <td>SIセンサーコンロ</td> <td style="text-align: center;">543台</td> <td style="text-align: center;">693台</td> <td style="text-align: center;">740台</td> <td style="text-align: center;">1,976台</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>5. 環境保全、地域活動への貢献の推進</b> 期間内において、多くの活動を通じて地域の皆様の快適な暮らし作りと、環境にやさしい都市づくりに積極的に貢献しました。</p> <p>(1) 環境に優しい高効率機器の販売促進については以下のとおり実施いたしました。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H20</th> <th style="text-align: center;">H21</th> <th style="text-align: center;">H22</th> <th style="text-align: center;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EW</td> <td style="text-align: center;">56台</td> <td style="text-align: center;">34台</td> <td style="text-align: center;">35台</td> <td style="text-align: center;">125台</td> </tr> <tr> <td>EJ</td> <td style="text-align: center;">599台</td> <td style="text-align: center;">668台</td> <td style="text-align: center;">677台</td> <td style="text-align: center;">1,944台</td> </tr> <tr> <td>床暖</td> <td style="text-align: center;">225系統</td> <td style="text-align: center;">138系統</td> <td style="text-align: center;">148系統</td> <td style="text-align: center;">511系統</td> </tr> <tr> <td>浴暖</td> <td style="text-align: center;">161台</td> <td style="text-align: center;">190台</td> <td style="text-align: center;">195台</td> <td style="text-align: center;">546台</td> </tr> <tr> <td>FH</td> <td style="text-align: center;">342台</td> <td style="text-align: center;">260台</td> <td style="text-align: center;">305台</td> <td style="text-align: center;">907台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 名張地域の小学校を対象に、3年間で8校387名へ環境教育を実施したほか、17校810名を大阪ガス施設のガス科学館へ招待し、将来への環境保全、次世代へのPRに取り組みました。</p> <p>(3) 毎月1回事業所周辺の清掃活動を実施し、また、名張市主催の地域清掃活動へも積極的に参加し、地域活動への貢献に取り組みました。</p>		H20	H21	H22	計	不燃防なし小型湯沸器	30台	23台	17台	70台	屋内設置から屋外設置	41台	31台	32台	104台	SIセンサーコンロ	543台	693台	740台	1,976台		H20	H21	H22	計	EW	56台	34台	35台	125台	EJ	599台	668台	677台	1,944台	床暖	225系統	138系統	148系統	511系統	浴暖	161台	190台	195台	546台	FH	342台	260台	305台	907台
	H20	H21	H22	計																																																
不燃防なし小型湯沸器	30台	23台	17台	70台																																																
屋内設置から屋外設置	41台	31台	32台	104台																																																
SIセンサーコンロ	543台	693台	740台	1,976台																																																
	H20	H21	H22	計																																																
EW	56台	34台	35台	125台																																																
EJ	599台	668台	677台	1,944台																																																
床暖	225系統	138系統	148系統	511系統																																																
浴暖	161台	190台	195台	546台																																																
FH	342台	260台	305台	907台																																																

# 経営効率化目標の実施状況

事業者名	効率化目標の内容	達成状況の内容
<p>名張近鉄ガス(株)</p> <p>目標の発表 平成 23 年 3 月</p>	<p><b>1. 環境負荷軽減への貢献</b></p> <p>(1)大阪ガスグループ環境マネジメントシステムを主とする環境活動の推進により、当社は自らの事業活動において、環境負荷の軽減に積極的に取り組んでいきます。</p> <p>(2) 高効率給湯システム、温水床暖房、浴室暖房換気乾燥機、ソーラー+ガスシステム等、環境に優しくエネルギー効率の高いガスシステムの普及拡大を促進していきます。</p> <p><b>2. 設備効率の向上</b></p> <p>ガス貯蔵・製造設備の効率的な運用を図るため、ガス需要の季節負荷変動軽減に大きく寄与するガス空調機器の普及拡大を促進していきます。</p> <p><b>3. 保安の維持・向上</b></p> <p>(1) 当社供給区域内に要対策管の対象となる経年白ガス管はありませんが、今後も継続的に経年白ガス管（維持管理導管）の改修を進めていくことにより、保安の確保に努めてまいります。</p> <p>(2) 不安全ガス機器の取替や安心高度化ガス機器の普及促進を図り、一層の保安レベル向上に努めてまいります。</p> <p><b>4. 地域活動への貢献</b></p> <p>(1) 次世代層へ向けた環境教育を実施し、将来への環境保全、次世代へのPRも積極的に行います。</p> <p>(2) 名張地域のエネルギー企業として、地域とのコミュニケーションを重視し、地域イベントの開催・協賛を通じて地域活性化に取り組みます。</p>	